

危険物発見箇所周辺環境調査について

< 広報さむかわ版 第8号(平成17年2月1日) >

発行・編集：環境省環境保健部環境リスク評価室、神奈川県防災局災害対策課、寒川町町民部防災交通課

環境省では、相模海軍工廠跡地の環境調査を平成15年度から行っており、平成16年度の第二次調査を平成16年12月から17年1月にかけて実施しました。

その結果、分析した全ての表層ガスおよび土壌からは、毒ガス成分は検出されませんでした。

第三次調査として、既に行なった物理探査の結果に基づき選定した地点を掘削し、物理探査の反応物が毒ガス弾等でないことを確認する不審物確認調査を平成17年2月の中旬から3月にかけて行います。

1. 平成16年度第二次環境調査の結果について

(1) 表層ガス調査

平成16年8月～9月および12月に実施した物理探査の結果、何らかの反応が検知された箇所全てについて、その直上の地表面の大気中に毒ガス関連物質が含まれていないか、平成16年12月から17年1月にかけて調査を行いました(合計21検体)。(調査地点は裏面参照)

結果: 全ての検体について、毒ガス関連物質(硫黄マスタード、ルイサイト、ホスゲン、シアン化水素)は検出されませんでした。

(2) 土壌調査

平成16年8月～9月および12月に物理探査等を実施した箇所について、表層土壌を採取して毒ガス関連物質が含まれていないか、平成16年12月から17年1月にかけて調査を行いました(合計49検体)。(調査地点は裏面参照)

結果: 平成16年12月に採取した検体について、含有量および溶出量どちらも毒ガス関連物質である、硫黄マスタード、ルイサイト、2-クロロビニル亜アルソン酸、あか剤関連物質(ジフェニルクロロアルシン、ジフェニルシアノアルシン、ビス(ジフェニルアルシン)オキシド、ジフェニルアルシン酸、フェニルアルソン酸)は検出されませんでした。なお、平成17年1月に採取した検体については、現在、分析中です。

2. 平成16年度第三次環境調査の予定について

既に行なった物理探査の結果に基づき選定した75地点程度を1m程度掘削し、物理探査の反応物が毒ガス弾等でないことを確認する不審物確認調査を平成17年2月の中旬から3月にかけて行う予定です。

(裏面に続く)

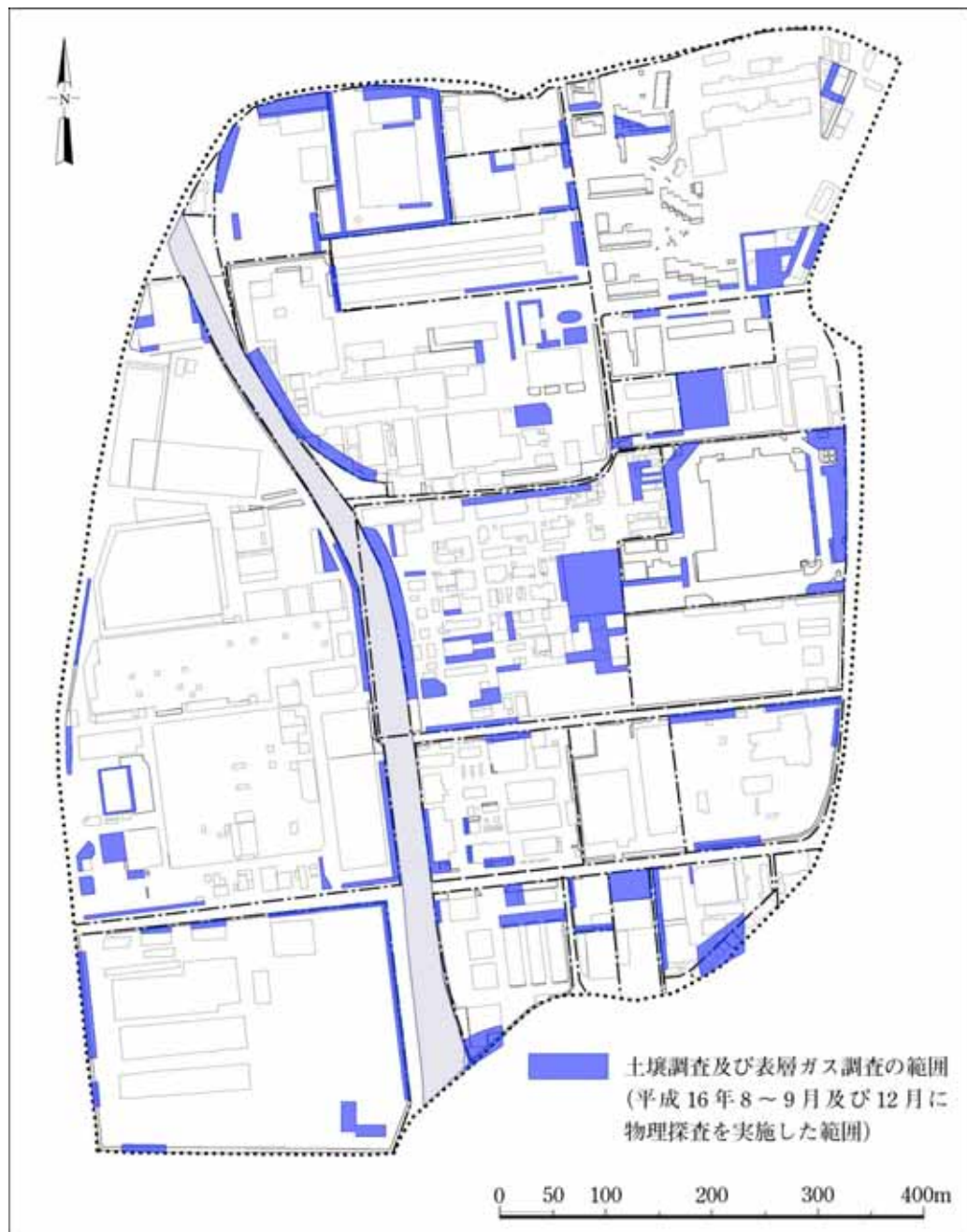
ご質問・ご相談は、下記窓口にご連絡ください。

環境省環境保健部環境リスク評価室	03 - 3581 - 3351
神奈川県防災局災害対策課	045 - 210 - 3513
寒川町町民部防災交通課	0467 - 74 - 1111

作業中、ガードマンの配置や囲い等による安全対策に十分配慮致しますので、ご協力の程よろしく
お願い申し上げます。

なお、調査箇所の土地所有者の方には、別途ご連絡し、日程調整などの後に調査を実施いたしま
す。

< 土壌調査および表層ガス調査地点図 >



注) 物理探査、土壌調査等の調査は裸地を対象に行っています。舗装されていたり建物が建
っているところについては、その状態が保たれている限り直接被害が生ずることは考えら
れないため、今回は調査していません。